

中間支援活動助成(基本)事業実績報告

団体名	(特非)奥播磨夢倶楽部	代表者名	理事長 春名 千代
事業名	おくはりま持続可能な地域づくり相談室		

<事業実施実績>

	①相談業務	②ネットワークの構築 情報提供	③人材育成 (講座開設等)	④書類作成指導	⑤その他 (調査研究等)
R3 実績	13	5	研修受入れ 1	4	取材・執筆 16
R4 計画	前年度と同数程度	WSは、社会情勢を考慮しながら実施する	講演会 1	前年度同様に要望があれば行う	取材・執筆 10 出版物寄稿 1
R4 実績	12	WS企画・運営のサポート 7 組織会議サポート 3 情報提供 12	講演会 1 研修受入れ 1	広報印刷物作成サポート 8 その他の資料作成サポート 1	取材・執筆 10 出版物寄稿 1

<効果と成果>

ネットワークづくりの「地域資源を活用したワークショップ」を継続して開催していますが、従来からの参加者に加えて、地域外からの新規の参加者も増えています(昨年度85人、今年度168人、増加率約2倍)。

新規の参加者もリピーターとして定着しつつあり、交流人口や関係人口の拡大、地域外の人材による地域づくりに成果をあげています。

持続可能な森づくり講演会は、専門性の高い講師の講演でしたが、現在、農村地域で直面している地域課題であることもあり、地域内外から多くの参加者がありました。また、受講者の約半数が現役世代であり、今後、地域の担い手として人材づくりにも貢献したのではないかと考えています。

中間支援活動を通して、地域外の人たちと関係性を強くしていくことで、多様な「つながり」が生まれ、地域課題解決のヒントを得る機会となっています。また、ワークショップや講演会では、当NPOの若いスタッフが活躍し人材育成につながっています。充実した中間支援の出来るNPOへと一歩ずつ前進しています。

<今後の展望>

都市部とは異なる課題を抱えている農村の中山間地域において、その地域特性や地域課題に合った中間支援のあり方を模索しながら、人材育成や地域間交流などにより「持続可能な地域社会」の構築に向けて、効果的かつ魅力的な事業を実施し、地域づくりのサポートを継続して行きます。

2023年度の「地域資源を活用したワークショップ」は、これまで継続してきたネットワーク関係者との協働をさらに拡大し、新しい連携体制を構築して、地域資源の活用と交流人口・関係人口の創出や拡大する機会を増やしていきます。

人材育成においては、今年度実施した講演会の内容をきめ細かに整理し、細分化されたテーマを掘り下げ、継続して学べる講座として実施し、学生からシニアまで、幅広い世代が参加・学べる場を提供します。このなかから、地域の担い手として活動する人材を発掘し、持続可能な地域づくりに繋げていくことに挑戦していきます。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
自己資金	10,641
合計	510,641

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費	180,000	180,000
	謝金	25,000	25,000
	旅費交通費	67,065	58,000
	その他(会場費、図書費、広報費等)	218,022	217,000
	小 計	490,087	480,000
間接経費(一般管理費)		20,554	20,000
合 計		510,641	500,000